



【発行所】
 独立行政法人国立病院機構 岩手病院
 岩手県一関市山目字泥田山下48
 Tel : 0191-25-2221
 Fax : 0191-25-2157
<https://iwate.hosp.go.jp/>
 発行責任者 櫻井 誠

新年のご挨拶

「～。人生は旅だし、死ぬときはだれでも、旅に病んで、夢が駆け巡って死ぬんだらうなあ、と。～」
 ——平石貴樹：潮首岬に郭公の鳴く、
 光文社電子書籍，2019，39%.

北海道函館市を舞台としたミステリで、松尾芭蕉の著名な句「旅に病んで 夢は枯野を 駆け巡る」を、ある登場人物がこう解釈し、その現代的感覚を高く評価しています。これまで私はこの句を、冬に旅先で病に罹ってしまい悔しい思いをしたのだろう、ぐらいにボンヤリ理解していました。人生の終焉に思いを馳せるという深い意味を読み取るべきなのですね。

人生は、時には成功することがあって周囲から好評を得ることもあります。多くは間違い、失敗、後悔の繰り返しです。したがって、折々に気持ちを切り替えてゆく必要があるのです。その良い機会が迎春だったりします。昨年経験した改元というイベントには、かつては憂き世をリセットする意義もありました。新年を新しい気持ちで迎えたいものです。

明けましておめでとうございます。今年もよろしくお願いいたします。

一年前のこの紙面で私は岩手病院の今後を、間口「250床」奥行き「障害7対1」を基礎とし、その上に医療の質を積みあげ高層化させてゆく、と建築物にたとえて表現しました。計画どおりに、希望どおりに質を高められたでしょうか？

病院の質を向上させるには、診療レベル、医療安全・感染対策、患者満足度、環境美化、労務環境・

健康管理、軋轢のない職場づくり、教育と研鑽、健全経営などなど、多方面にわたって改善・向上させるべく地道な活動を継続してゆく必要があります。さしずめ、今年令和2年は当院の質的高層化推進の2年目です。停滞や退行はいけません。働き方改革も一歩進みます。2年目にふさわしい高さを目指したいところです。

また、重症心身障害、神経筋難病、回復期リハビリテーションなどの分野において地域的かつ広域的な医療・介護・福祉・行政の多角的連携をさらに推進させ、この地域の医療福祉水準の向上に寄与したいと思います。なお、今年には重症心身障害児病棟の開設50周年にあたります。旧あすなろ東病棟の開棟が1970年3月であり、翌4月に入院の受け入れが始まったと理解しています。小規模でも何か記念行事を催したいものです。

一方、外来棟・管理棟の建替えについては、国立病院機構全体の経営が不安定なため建物投資のハードルが一層高まっています。当院は2022年10月に創立80周年を迎えますから、その頃までには建替え実現への端緒を掴みたいと思うのです。

こうしてみますと、今年もやるべきことはたくさんありますね。皆で協力して元気にやってみましょう。

今年がどうぞ明るく良い年でありますように。

病院長 千田 圭二

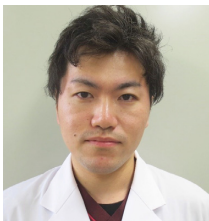


院内カンファレンス インフルエンザについて

臨床検査技師 遠藤 昂駿

11月11日の院内カンファレンスにおいてインフルエンザについてお話しいたしました。

インフルエンザは毎年流行が起る身近な感染症であり、予防するためには正しい知識を身につけることが大切です。一般的に、風邪よりも感染力が強く症状が重い（倦怠感・高熱など）といわれますが微熱で発症することもありますし、シーズン中に同じ型のインフルエンザに罹ってしまうこと



もあります。

インフルエンザの薬は症状を緩和するほか、体内のウイルスの増殖・体外へのウイルスの排出を抑えることができますが、発症してから48時間以内に服用する必要があります。よって、もしかしてインフルエンザかも？と思ったら早めに受診することが大切です。慢性呼吸器疾患（喘息など）の基礎疾患のある方や高齢者・小児は重症化しやすいため特に注意が必要です。

これから寒くなりますが、体調管理に気を付けて元気に春を迎えられるようにしましょう。

看護師の成長が見えたケーススタディ発表会

副看護師長 懸田 恵

11月26日と12月4日の2日間、キャリアラダー・レベルⅡの看護師30名のケーススタディ発表会がありました。このケーススタディは、先行研究や文献にふれ、新たな知識を習得し、思考過程を養う目的で行っています。今回は初の試みとしてポスターセッションで発表しました。

発表内容は、身体拘束解除に向けた看護や誤嚥性肺炎予防の援助、皮膚トラブル軽減の看護等、患者のQOL向上に向けた取り組みが多くありました。看護師は、発表を終えると笑顔になり、充実した表情をして

いたのが印象的でした。ケーススタディで得た学びは大きく、また、同期の取り組みを聞くことでとても刺激になったようです。

今後も看護の質が向上するように、看護部全体で支援していきたいと思っております。



情報セキュリティ研修を受講して

調剤主任 平川 桂輔

11月11日からの2日間、国立病院機構本部にて情報セキュリティ研修を受講してきました。院内の情報が漏えいしないにはどうすればいいのか、漏えいしてしまった場合はどう対処していけばいいのか、普段の業務ではじっくり考えることができなかったため、非常に有意義な研修でした。

研修はグループワークがメインで、2日目は全てが



グループワークの時間でした。内容は実際にグループのメンバーが仮定の病院の職員となり、情報の漏えい、SNSやネット掲示板への個人情報の書き込み、入院患者の中に芸能人がいたため所属事務所への対応など、情報漏えいから起こった様々な事故を解決し、最終的には情報の流出経路を探し出すものでした。

今回の研修を通して、情報漏えいが起こった際には早めの対処が重要であることを再認識しました。もちろん、一番は情報漏えいをしないことです。個人情報の取り扱いに十分注意して、日々の業務を行ってまいります。

Neurac Clinical Reasoning研修会と第4回スタビリティ研究会学術大会に参加して

理学療法士 黒沢 健

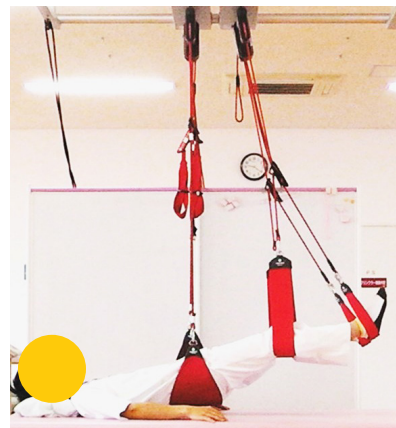
11月23日にRedcordのNeurac Clinical Reasoning研修会へ、また24日には第4回スタビリティ研究会学術大会に参加してきました。

Redcordとはノルウェー発祥の運動用具で、天井から垂らしたロープを用いて運動を行います。対象疾患を選ばない、運動負荷の漸増・漸減が容易などの特徴があります。NeuracとはNeuromuscular Activation(神経筋活性化)を意味する造語で、Redcordを使用し神経筋を高いレベルで活性化させる方法です。

研修会ではRedcordを用いた評価に加え、perform+という概念を組み合わせることでより正確な運動機能の評価ができるという内容でした。perform+は対象者に対し、徒手やベルトなどを用いて行う簡易な評

価です。今までのRedcord研修会にはなかった概念だったのでとても勉強になりました。

また学術大会では当院で取り組んでいるパーキンソン病の姿勢異常に対するRedcord訓練について発表しました。今回の発表で得たことを臨床に活かしていきたいと考えています。



今年も幸せな時間をありがとう！ 東北学院大学SWE演奏会

保育士 吉家 菜津美

岩手病院の銀杏が色づいた10月30日木曜日。今年も東北学院大学シンフォニック・ウインド・アンサンブルによる演奏会を執り行いました。昭和57年にスタートした演奏会も今年で37回目になります。今年は35名の学生に参加していただきました。

開催会場が療育訓練室とあすなろ5病棟の2会場となるため、アンサンブルチームも結成していただき、あすなろ病棟すべての患者さんに素敵な演奏を届けることが出来ました。また、一般病棟・外来からも多くの患者さんが来場して下さり、一緒に口ずさんだり手拍子をしたり、会場が一つとなって演奏を楽しむことができました。

今年は、ディズニーにジブリ、演歌など、計7曲のバラエティ豊かな演奏プログラムでした。全ての演奏が終わると、会場からは、自然にアンコールの声が響き渡り、「おどるポンポコリン」の演奏で会場は最高の盛り上がりを見せました。最後に学生さん方から手作りしたメダルをプレゼントしてくれるというサプライズがあり、患者さん一人一人に手渡してもらいました。声をかけられた患者さん方からは、嬉しい気持ちが溢れていました。

ご家族の皆さんや職員からは「感動した」、「また来年も聴きたい」などという声が聞かれ、そして何よりも演奏を聴き入る患者さんの表情や眼差しや笑顔が、素敵な時間であったことを物語っていると思いました。学生さん方のパワーと温かい思いが伝わる素晴らしい

演奏に触れ、音楽の楽しさを改めて感じる事ができました。ずっとこの岩手病院で続いてほしい行事の一つです。

東北学院大学シンフォニック・ウインド・アンサンブルの皆さん、本当にありがとうございました。また来年もお待ちしています！



光のファンタジー ～触れて楽しむイルミネーション～

保育士 竹内 詩織

♪ジングルベル、ジングルベル…♪ 至るところでクリスマスの音楽とともに、綺麗なイルミネーションが飾られる時期となりました。入院患者さんにも間近で見てもらいたい、楽しんでもらいたい、という思いを胸に、岩手病院新棟3階の療育訓練室で12回目の光のファンタジーを開催しています。あすなろ病棟の患者さん、一般病棟の患者さんやご家族の方々、また外来やりハビリに通院している患者さんを対象に、平日10時30分から16時30分まで行っています。

イルミネーションは、11月25日の点灯式から12月26日まではクリスマスバージョンで開催していました。にぎやかな雪だるまの街並みや、壁にはディズニーキャラクター、そして職員一押しの電飾鮮やかな2m 20cmの特大ツリーは、写真スポットとしても大人気です。

今回は岩手日日新聞社やテレビいわての取材もあり、12月24日の「ニュースプラス1いわて」にて放送されました。天井からの青の電飾と壁や床に映し出されるミラーボールの光、実際に患者さんの笑顔や喜んでいる姿を見て、



取材に来たカメラマンの方からも好評を受けました。

シーズン中にレイアウトを変更します。現在のウインターバージョンは、なが〜い電飾で作った光ロードが目玉で落ち着いた空間の中で光輝く道を歩く…とてもロマンチックです。クリスマスバージョンとはまた一味違うイルミネーションを楽しめると思います。

毎年変えるレイアウト。担当になった保育士は頭を悩ませますが、自分達の作った空間で、静かな音楽と光の中、リラックスしている患者さんや「まだここに居たい」とお願いしている小さな可愛いゲストさんたち。見学に来てくれる皆さんに喜んでもらえることがなによりです。これからも素敵な空間と時間を提供できるよう、頑張っていきます。

2月10日まで飾っています。岩手病院へ来院の際にはぜひ見学に来てください。お待ちしております〜す♪♪

診療体制 (令和2年1月1日現在)

診療科		月	火	水	木	金
脳神経内科	午前 (再来)	豎山	工藤 ※物忘れ外来、 頭痛など	千田(圭)	千田(光)	今野
	午前 (新患)	千田(光) (第1、3) 今野 (第2、4)	阿部	豎山	小野	千田(圭) ほか
	午後	※HAL外来 今野 (第1、3、5週)				※リウマチ科 千葉(実) (最終金曜)
呼吸器内科		芦野	櫻井	芦野・森 (禁煙外来)	櫻井	芦野
内科		櫻井 予約者のみ		櫻井 予約者のみ	阿部	佐藤(良)
外科		平野 予約者のみ	平野 予約者のみ		平野	
小児科			田澤		仙台医療センターから (月2回 第2、4)	※重症心身障害 大沼
リハビリテーション科		佐藤(智) ※ボトックス外来、 AGA外来など			宮	
歯科		佐藤(敦)	佐藤(敦)	佐藤(敦)	佐藤(敦)	
その他	※予約に関するお問い合わせは14:00～15:00にお寄せ下さい。 ※専門外来は、すべて予約制です。 ※予防接種は、火・木9:00～11:00に完全予約で行います。			※心療内科 伊藤 ※消化器内科 仙台医療センターから ※アレルギー科(第2週) 千葉(友)	※皮膚科 東北大学から	※循環器内科 羽根田 (第1、3週)

職場紹介 — 地域医療連携室 —

当院の地域医療連携室は、院長、事務部長、外来看護師長、病棟看護師長、退院調整看護師、療育指導室長、医療相談係長、MSW(3名)、事務助手が構成メンバーです。毎週木曜日に回復期リハビリテーション・レスパイト入院などを含めた入退院調整会議を行っています。回復期リハビリテーションの入院について予約後お待たせしてしまう事がありますが、スムーズに調整できるように心掛けていきますので、今後ともよろしくお願いいたします。

医療社会事業専門職 竹越 友則



【編集後記】 新年明けましておめでとうございます。今年は子年、そして東京オリンピックの年です。日本で開催するオリンピックですから、今年の夏はいつも以上に熱くなるでしょうね。スポーツ観戦は、アスリートの情熱、真摯な姿、チームワークに感動を受け声援を送りたくくなります。私達医療職も、常にアスリート並みの真摯さで、One Teamを心がけたいと思います。(Y・C)